

2018年日本建築学会教育賞受賞事業



ひろしま建築学生チャレンジコンペ 2022

@みはら

審査結果

共催



三原市



広島県

協賛



総合資格学院



大旗連合建築設計株式会社
OH-HATA ARCHITECTS & PARTNERS



株式会社テクシード
RE:FACTORY



まちづくり三原

TOTO

■家成俊勝委員長 講評 |

学生の皆様お疲れ様でした。最終審査では非常に精力的な案が出揃い、審査も非常に難しいものとなりました。私自身審査委員長として最優秀作品を選ぶ責任の重さを審査段階から感じておりましたが、最後にはみなさんで非常にいい案を選べたと思っています。

建築というのは現代の社会において、設計だけではなくまちのこと、地域のこと、さらには地球のことまで考え、狭い世界の閉じた空間の話だけではなくて、領域をどんどん拡大していくことで、みんなが豊かに暮らせる状況をつくれるものだと思って私自身も設計しております。

そういった意味でみなさんはこれから建築、まちの歴史・文化を作っていく世代だと思います。今回残念ながら落選された学生の皆様もこれから素晴らしい未来があると思うので、切磋琢磨して共に頑張っていければと思います。どうもありがとうございました。

■審査委員会 |

委員長	家成 俊勝 <small>いえなり としかつ</small>	建築家, dot architects 主宰, 京都芸術大学教授
委員	土井 巨 <small>どい わたる</small>	建築家, dot architects , 京都市立芸術大学非常勤講師
	成田 和弘 <small>なりた かずひろ</small>	建築家, Kufu 一級建築士事務所主宰, 広島工業大学非常勤講師
	岡田 吉弘 <small>おかだ よしひろ</small>	三原市長
	的場 弘明 <small>まとば ひろあき</small>	広島県土木建築局総括官 (建築技術)

■審査スケジュール |

◇応募登録申込期間：令和4年7月2日(土)～9月9日(金)

◇作品提出期間：令和4年9月9日(金)～9月15日(木)

◇一次審査：令和4年10月1日(土)

◇最終審査：令和4年11月12日(土) @三原市芸術文化センター

■審査過程 |

BEST-25	1次審査委員会の審査投票で選ばれた25作品
	… 全46作品を対象に、各委員が選定したい作品に投票し、1票以上獲得した作品 (各委員がそれぞれ10作品へ投票)
BEST-8	【入選・特別賞作品】1次審査を通過した5作品+特別賞を受賞した3作品
	… 25作品を対象に、委員の議論により選定した、上位8作品
BEST-3	【優秀作品】最終審査委員会の審査過程で選ばれた3作品
	… 5作品を対象に、委員の投票・議論により選定した、上位3作品
BEST-1	【最優秀作品】実際に建設する作品
	… 3作品を対象に、委員の議論により選定した作品

■ 優秀作品 (BEST-3) |

054 | 宮地栄吾, 谷口愛理, 田村真那斗, 原琉太, 藤巻太一, 村田龍星 (広島工業大学・大学院)

三原に、いま、どんな消防屯所が必要か？
 「三原市」の発展に伴い、人口が増え、住宅が密集する地域が増えています。消防活動の範囲が拡大し、従来の消防屯所では対応が難しくなっています。また、地域の活性化や防災意識の向上を図るため、新しい消防屯所の設計が求められています。

消防屯所の見え方
 この建物は、近代的なデザインと伝統的な建築要素を融合させています。地域の景観に馴染むように、屋根の形状や素材に配慮しています。また、開放的な空間を確保し、市民との交流を促す設計としています。

車庫と待機室の反転
 従来の消防屯所では、車庫と待機室が別々の建物に設けられていました。ここでは、車庫と待機室を一体化し、効率的な運用を実現しています。

公共施設に木造を
 本館を木造とすることで、地域の景観に馴染むことができます。また、木造建築は断熱性能が高く、省エネルギーに貢献します。さらに、木造建築は地域の木材産業を支援する効果があります。

学校に対して開く
 学校と隣接しているため、学校との連携を促進するために、開放的な空間を確保しています。また、学校行事や防災訓練などに活用できるように設計しています。

歩道に対して開く
 歩道と隣接しているため、歩行者との交流を促すために、開放的な空間を確保しています。また、歩道の整備や緑化にも配慮しています。

日常に溶け込む消防屯所
 地域の生活に溶け込むように、開放的な空間を確保しています。また、地域の文化や歴史を反映したデザインを採用しています。

住宅地側へ開く
 住宅地と隣接しているため、住民との交流を促すために、開放的な空間を確保しています。また、住民の防災意識の向上を図るために、防災訓練などに活用できるように設計しています。

待機室のフレキシビリティ
 待機室は、多目的に活用できるように設計しています。例えば、会議室や研修室として活用することもできます。また、地域の活動やイベントにも活用できるように設計しています。

可変性への配慮
 将来のニーズに対応できるように、可変性を確保しています。例えば、車庫の拡張や待機室の増設などができるように設計しています。

防犯性への配慮
 防犯性を確保するために、開放的な空間を確保しています。また、地域の治安を向上させるために、防犯カメラや照明などを設置しています。

省エネルギー化の実現
 省エネルギーを実現するために、断熱性能を向上させています。また、自然光や自然風を活用して、エネルギー効率を向上させています。

4CCへの配慮
 4CC（防災、防災、防災）への配慮を実現するために、開放的な空間を確保しています。また、地域の防災意識の向上を図るために、防災訓練などに活用できるように設計しています。

コストで豊かな空間を実現
 コストを抑えながら、豊かな空間を実現するために、開放的な空間を確保しています。また、地域の文化や歴史を反映したデザインを採用しています。

BEST-3 委員の議論により選定

BEST-8 投票した審査委員

BEST-25 委員の議論により選定
投票した審査委員

土井, 岡田, 成田

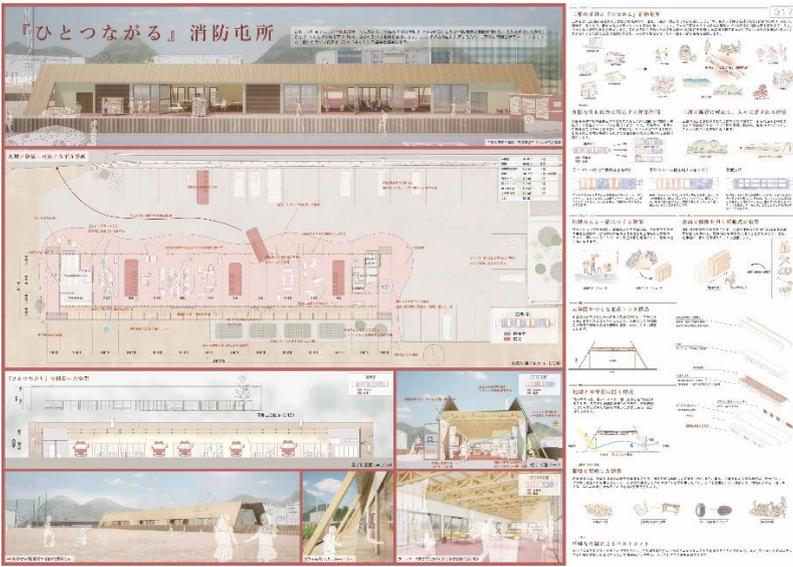
家成, 土井, 成田, 的場

委員コメント

- ・ 南側の消防車への動線計画や消防車両の幅にゆとりを持たせている点など、コストを含めてひとつの建築に対して総合的にバランスが取れ密度の高い作品となっている。(土井)
- ・ 地域に対する開き方がとてもうまく、外構を積極的に計画している点、車両の見せ方を工夫している点も良い。(成田)
- ・ シンプルながらも行動変容を促す一工夫がされている。(岡田)

■入選作品 (BEST-8) |

017 | 川島 昂次朗, 山道 里来(東京理科大学大学院)



BEST-8 委員の議論により選定

BEST-25 投票した審査委員

家成, 土井,
成田, 岡田,
的場

委員コメント

- ・ひとつの大きな居室をつくる明確なコンセプトがあり, 使い方について今後の発展性があり, 使いながらコンセプトを崩さずに考えていけるフレキシビリティがある。(土井)
- ・建築的なプロポーションが良い。行動変容を促す工夫・ゾーニングもよく考えられている。(的場)

■入選作品 (BEST-8) |

019 | 川岡 聖夏, 矢口 絵理奈(岡山県立大学大学院)



BEST-8 委員の議論により選定

BEST-25 投票した審査委員

土井, 成田

委員コメント

- ・車両の止め方が他になく, 配置が非常に面白い。(土井)
- ・ショーケースのような消防車両の見せ方が特徴的で面白い。(成田)

■ 審査委員長特別賞作品 (BEST-8) |

016 | 津田 智哉, 今村 大, 馬場 琉斗, 黒川 朋希, 佐藤 慧 (工学院大学大学・大学院)



BEST-8 委員の議論により選定

BEST-25 投票した審査委員

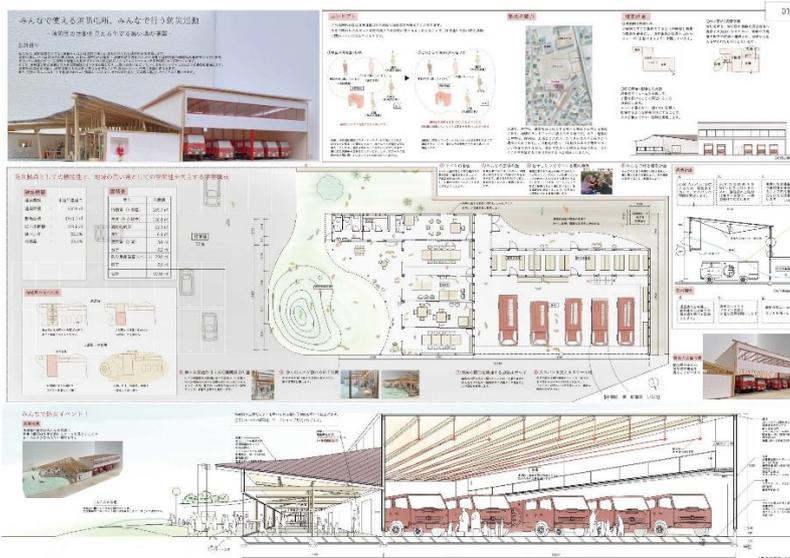
家成, 的場

委員コメント

・建築を通して何がしたいのかが非常に見えた作品。建物だけでなく、三原の環境などのプロダクトから展開したり、ワークショップを提案したりと、地域を巻き込みながら建築を作りたい意思を感じられた。(家成)
 ・ボリューム操作で建物の形態を考えた点も分かりやすくして良い。(的場)

■ 三原市長賞作品 (BEST-8) |

014 | 河村 悠太, 藤本 梨沙 (横浜国立大学大学院)



BEST-8 委員の議論により選定

BEST-25 投票した審査委員

土井, 岡田
的場

委員コメント

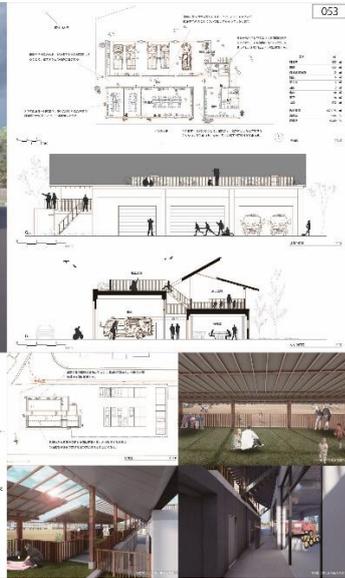
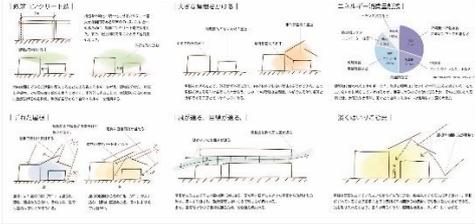
・東側に広場を設けることで、待機室と屋外が繋がる空間がある。外構を積極的に取り込んだ設計がされており良い。(土井)
 ・広場があり、屋根の形状が包み込む印象があり魅力的である。住民が消防団を身近に感じられそうあり、気軽に立ち寄れる屯所である。(岡田)

■ 消防長賞作品 (BEST-8) |

053 | 杉山 星斗, 中本 圭輔 (近畿大学大学院)



みんなのたむろば
 誰もが安心して暮らすことのできるまちづくりを実現するために、地域の特性を活かしたまちづくりを推進します。また、地域の魅力を最大限に引き出し、住民の生活の質を向上させることを目指します。



BEST-8 委員の議論により選定

BEST-25 投票した審査委員

岡田

委員コメント

・屋上に上がることができ、中学校の様子を見ることができることから、住民にとっての身近な屯所になりうる。(岡田)